

### 茶園におけるチャトゲコナジラミ発生消長調査について

#### 1. 目的

チャトゲコナジラミは平成25年3月にヒサカキで初めて確認されたが、迅速な対応によってその後の発生は確認されなかった。しかし、平成26年4月に新たに茶園での発生が確認された。そこで、本県での茶栽培における防除適期を把握するため、黄色粘着板を用いて発生消長を調査した。

#### 2. 方法

調査地点：都城市内茶園

調査期間：平成26年4月11日～平成27年3月31日

平成27年4月1日～平成28年1月5日

調査内容：黄色粘着板によるトラップ調査を行った。原則7日以内で交換・回収し、成虫の誘殺数を計測した。

#### 3. 結果及び考察

成虫誘殺数の推移から、都城市内では年に4世代の発生があると考えられる(図)。調査初年度(平成26年度)は明確な発生ピークの把握が困難であったが、調査2年目(平成27年度)で都城市内の発生消長についてはほぼ把握出来たと考えられる。今後は関係機関の協力を得てその他発生地域についても調査を行い、防除適期の把握に努める予定である。

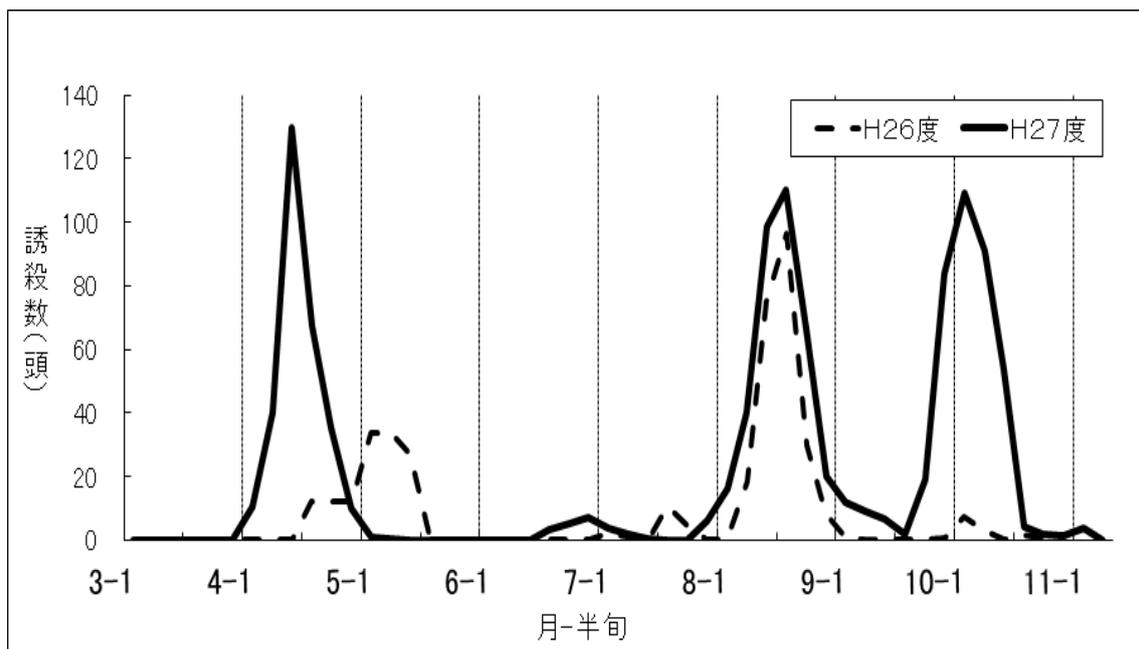


図 茶園におけるチャトゲコナジラミ成虫の誘殺数